

令和6年度 第6回西区自治協議会 会議録

日 時	令和6年11月28日(木) 15:30~	会 場	西新潟市民会館 2階 多目的ホール
出席者	委員	大谷会長、風間副会長、久保田委員、古俣(雄)委員、伊藤(甲)委員、渡邊(恒)委員、齋藤委員、丸山委員、岩沢委員、竹田委員、笹川委員、伊藤(正)委員、藤橋委員、青木委員、澤邊委員、朝倉委員、相田委員、山賀委員、古俣(和)委員、山岸委員、篠田委員、長澤委員、原澤委員、高橋委員、西山委員 計25名	
	事務局	水野区長、内藤副区長兼総務課長、兼島地域課長、治田区民生活課長、吉岡健康福祉課長、浅間保護課長、石附農政商工課長、丸田建設課長、野崎西出張所長、大竹黒崎出張所長、高島坂井輪地区公民館長、真柄坂井輪図書館長 他	
傍聴人	県議・市議…2人／報道…1人／一般…0人		

【開会】

(地域課・土田補佐)

- ・出席予定委員数30名、会議成立の報告
- ・会議内容公表の報告
- ・資料内容確認
- ・報道の許可確認

【議事】

(大谷会長)

それでは続きまして、次第の2議事、

- (1) 令和7年度特色ある区づくり予算事業についての答申についてであります。

こちらは答申内容に、各部会で話し合われた区役所企画事業案に対する意見が含まれておりますので、まず、各部会の意見について、各部会長から報告していただきたいと思っております。

進行を円滑にするため、各部会の意見の報告と併せて、
次第の3、報告の(1)部会の状況報告を行っていただきます。

各部会長は開催日時等をご報告いただいた後に、資料1-2に基づいて、
区役所企画事業案に対する各部会の意見、続いて資料2に基づいて各部会の会議概要
といった流れで報告をお願いいたします。

それでは第1部会岩沢部会長お願いいたします。

(第1部会会長・岩沢委員)

はい。それではまず、お手元の資料において見ていただきたいんですが、第8回の部会を11月7日3時から4時半、4階の対策室にて、出欠は記載の通り開催しました。

西区の特色ある区づくり予算につきましては、総じて批判的な意見はありませんでしたが、地域と大学連携事業は、新大だけでなく、他の西区の大学もいれてはどうかと意見がありました。

いずれにしても、地域との連携には各部署と各学校等の折衝が非常に大事だろうとお話がありました。

特色ある区づくり予算につきましては以上でありまして、また資料2を見ていただきたいんですが、防犯講演会についてご案内の通り、11月16日土曜日でありましたけれども、幸いに天気も良く、非常に良かったと思っています。

手前味噌でありますけど、表彰には私も自治会長として表彰されました。

自治会長表彰の時には、席の空白が多かったのですが表彰後の防犯講演会では席の空白がなくていっぱい参加、盛大でした。

それだけ特殊詐欺についてですね、やはり関心があるだろうというふうなことで、非常に感銘したところであります。

司会は高橋委員、そして開会式は大谷会長にご挨拶いただきました。その他の役割分担は我々第1部会の部員で行ったということであります。

いずれにしても、これは非常に大事なことだろうと。

人口は中央区に次ぎ、西区が多いんでありますけれども、残念ながら昨年度の実績によりますと、特殊詐欺については常にトップ、さらには自転車盗難もトップであります。

これを何とかゼロへのチャレンジをしようということでテーマを決めてですね、やりました。

必ずや0のような状態に、今年度はですね、なるだろうというふうに考えておるところです。

加えて、自転車盗難につきましては、高校の生徒会と一緒に鍵かけの呼びかけをやりまして非常に効果があったなというふうに考えています。

警察の方に聞きましたら、非常に減少したという話も聞いておりますので、非常によかったなど。

そして3番目といたしまして、環境美化、これはサブになってますけれども、ポイ捨て防止の看板を配布しました。

これはご案内当時、最初はですね3ヶ所だけでしたが、コミ協の会長経由でお願いしましたところ、予算で作成できる数が201個であるのに対して、100個オーバーしまして、321個と、非常にありがたかったんですけど、すべては用意できなかったため、要請あったところに3枚ずつ配るということに変更しました。

さらに看板設置の効果検証を12月20日時点で報告をたくようになっております。

そういうことで非常に多くの方に関心を持っていただき非常によかったなと思っています。

裏面にいきまして、12月9日で次回部会を開催するというので、私の方は以上です。

(大谷会長)

はいありがとうございました。続きまして、第2部会山岸部会長お願いいたします。

(第2部会会長・山岸委員)

はい2部会長の山岸です。会議の概要をご覧ください。

開催日時11月12日火曜日午後3時から4時半、区役所の4階対策室で行われました。

出席については記載の通りです。

主な議事として一番目に、令和7年度特色ある区作り予算についてというところで話し合いました。出された意見につきましては下、別紙をご覧くださいたいので戻りまして、資料の1-2をご覧ください。

1番、やさしい区役所推進事業について、今年度の区役所2階の変更はとても良かった。

健康センター棟の2階も明るい雰囲気にしてもらえるといい。

健康センターとの2回について改装するのであれば、土足厳禁の場所があると親御さんたちも親子として訪れやすいんじゃないか。

以上のようなご意見が寄せられました。

続いてNo.9です。

区づくり予算事業の海の賑わいスポーツマイルプロジェクトです。

区づくり予算事業という意味で、西区らしく海のスポーツに着目した点はとても良い良いと思う。

健康増進が図れるとは言い切れない種目が多い点とか、
安心安全や危機管理が難しいという点には注意すべきなんじゃないか

以上のようなご意見がありました。

次のポチについては、昔から遠泳などが地域にありますが、
それについては安全に行うことができていたのですが、
非常に現在は海とかプールとか水に関するところの安心安全とか危機管理については
非常に難しい時代になってきたんじゃないかというところは、
取り組みに当たって非常に難しいというようなニュアンスでご意見いただいています。

それから SUP のみならず、多様なマリンスポーツを
幅広く振興していただけると良いというご意見もありました。

続きまして裏面に行きます。

10 番です。地域と大学連携事業、非常に活発な意見がありました。

何をしていくかは以前より明らかになったが、予算額に対して成果が見えない。

今年度の取り組みの一つである内野駅前のイルミネーションは、
以前からやっていたので本当に効果があるのか、大学の先生が主導でやって意味合いが見出せるか。

それから課題に対して専門性の高い先生にお願いする形で実施するのがいいのではないか。
以前、市と大学の取り組みがこのような形で行われたときは高評価であった。

あと、期間的に単年度で結果を出すということが非常に難しい。
地域活動を行い、結果まで出すという本事業の立て付け自体に厳しい側面があるのではないか。

連携の実績づくりが主たる目的であるとすれば、既に連携活動を行っている先生の事業に
区からある意味お墨付きをあげる形で連携していくのがいいのではないか。

現在は実績作りの段階ということで連携しやすい新大の先生が対象になっていますが、
ゆくゆくは新大のみに限らず、他の大学とも連携の輪を広げていけるといいのではないか。

というようなご意見がありました。

最後 11 番、Meetup!NiigataWest2040 です。

事業内容は以前より定まっているが、予算額に見合った成果が見えないため、広く区民に成果を説明できるように事業を進めていったらいいのではないかと。

大学に行っていない人は多くおり、世の中をそういった人たちが動かしていることを考えると、多様な主体が関わり合うコミュニティを作ることができる本事業には、非常に将来的に期待する面がある。

といったご意見がありました。

区づくり予算については以上になります。

もう一度資料のところ、2 番の資料 2 の 2 部会のところにお戻りください。主な議事 2 番です。

あいさつ運動の水平展開について、イオンと以前から連携について模索してきました。

各店舗での実施の詳細や注意事項について部会で確認させていただきました。

12 月 15 日にまずイオン青山店で 10 時半から 11 時半まで各入口でやっていますので、もし皆様お通りになられましたらあいさつを私達と交わしていただけたらありがたいと思います。

それから名刺サイズカードの増刷について、在庫が少なくなってきているので、イオンで配布するためということで 1500 枚増し刷りすることになりました。

それからやりっぱなしではなくて、皆様からどういった効果や、どういった意味合いを持ってやってもらったか、いろんな意見を聞きたいということで、協力団体からのフィードバックについて考えました。

アンケートの配布先とその担当者を確認して、終わりました。

次回は、令和 6 年 12 月 12 日木曜日午後 3 時から西区役所健康センター棟で実施します。以上です。

(大谷会長)

はいありがとうございました。

続きまして第 3 部会、山賀部会長お願いいたします。

(第3部会会長・山賀委員)

第3部会の報告を行います。開催日時は11月11日10時半から12時でした。
出席者等は、記載の通りです。

まず特色ある区づくり予算事業についての意見ですが、資料1-2の方をご覧ください。

まず1つ目、優しい区役所推進事業に対しましては、今年度から改修を行っているということで、今年度のレイアウト変更は非常に効果があったと思うと、来年度行う健康センター等も効果のある改修がされるといいとか、それから西区役所の混雑状況が非常に混雑している、という状況についても教えていただきましてですね、どうも窓口にお越しになる方が多いということでしたが、窓口申請のオンライン化を進めたらもっと件数が減らすことができるのではないかなというようなご意見がありました。

それから続いて2番目の住民バス利用促進事業で、これ赤塚エリアを走っている住民バスですけれども、運営委員会からも毎年要望が出ているそうなんですけれども、内野駅までの延伸を考えて欲しいというご意見がありました。

それから乗ってもらうためのキャンペーンを実施されていますけれども、生活の方、住民に合わせて今組まれている内容なので、観光なども視野に入れて土日の運行も検討してほしいというご意見があったり、それから試乗キャンペーンをやるより、なぜ乗らないのかアンケート調査を有効ではないかとか、そのニーズを拾うというようにそのニーズを分析して、施策を検討してほしいというようなご意見が出ました。

それから今バスと電車の乗り換えということに着目されていますけれども、バスからバスに乗り換えをするというところをもっと周知されてもいいというご意見がありました。

続きまして裏面に行きまして、地域と大学連携事業です。

こちらの方は、学生さんが第3部会にいましてですね、学生さんからの意見で、この事業がですね、学校には行ってると思うんですけども、大学の学生の方に十分な周知がされているようには思えない、感じないということで、学生から事業を提案するような機会というのが今後あるのかどうかというご意見もありました。

それから他の部会でも出ています通り、もっと他の大学ということにこだわらず、もっと広くいろんな規模で事業活動ができるようになるというご意見もありました。

この他に文章の表現の中でちょっと誤解されそうな箇所があったので、修正を第3部会の方からお願いをいたしました。

以上が区づくり予算に対しての第3部会の意見です。

資料2に戻ります。資料2の第3部会の会議概要です。

第3部会は3つのプロジェクトを行っておりまして、フォトコンテストを今実施中です。

部会当日現在、応募状況37件ということで、この前に、アートフェスティバルの会場でPRをさせていただいたところちょっと増えたということで効果があったのでとても良かったです。

それからバスツアーについて、延期していた学生向けのバスツアーを11月17日に開催しました。このとき開催前だったので進行の流れ等を確認しました。

17日にあったバスツアーはちょっと参加者少なかったのですが、非常に大学生の皆さんに楽しんでいただけたら、西区の良さを知っていただけたんじゃないかなというふうに思っています。

それから交通に関する取り組みについては、いろいろ取り組みを検討してるけれども、その中でアンケートを実施するというので、前回の本会で自治協議会委員の皆さんにアンケートをお願いしました。

このときの回答数が14件だったので締め切りを1週間延長させていただくことにしまして、これ後ほど結果の方は説明させていただきます。

それから今年度の成果の取りまとめについてもお話しまして、事務局案の通りの流れにしまして、その①から③まで書いてある通りですが、毎年時作成している事業評価書や成果と課題ってところの作成時にその内容について部会から出してもらって、作成するというのでそれを次期の委員さんに引き継ぐという流れにしています。

主な意見としましては、評価を行う際に、課題であった点や決算の費目等も分かるように作れるといいとか、評価書の作り方で、実績ベースで作って意見を加えるということですか、それからまだ事業が進んでる、進行中のものですから、この成果と課題については1月以降に話し合いたいということになりました。

次回は12月6日に行います。以上です。

(大谷会長)

はいありがとうございました。続きまして、広報紙特別部会 長澤部会長お願いいたします。

(広報紙特別部会会長・長澤委員)

はい。

広報紙特別部会第8回会議の内容についてご報告いたします。

開催日が11月15日3時から対策室にて、出席については表記の通りです。

主な議事については、第46号12月15日発行の紙面について、発行までのスケジュールの確認、また初校の確認。これについては各記事について内容を確認し、修正案を検討いたしました。

また防犯講演会については、会議の後の11月16日開催のため、後日記事や写真を事務局に提出し、編集することといたしました。

また、今回の初校の内容については、11月20日に行いました運営会議の席上で、各部会の部会長にご提示いたしまして、チェックをしていただきました。

また今回資料として添付いたしました、初校の第4版になりますが、「西区を豊かに」これはほぼ完成系で印刷しております。

こちらについては各部会の皆様に細かな文言等ですね、誤りがあるかないかというところを最終的にチェックしていただいて、もし変更点があるようでしたら、明日中に地域課の担当の職員さんまでご連絡いただければと思います。

続きまして次回の開催日が12月4日といたしました。

従来ですと各部会の皆様の会議が終わった後に広報部会を行っていたのですが、この12月15日発行のスケジュールのためにですね、最終的な読み合わせということで、12月4日が開催日とさせていただきます。

広報紙特別委員会については以上です。

(大谷会長)

はい、ありがとうございました。続きましてアートフェスティバル特別部会ですが、11月の部会は休会とのことですが、何か皆様にお伝えしたいことがあれば、お願いしたいと思います。

(アートフェスティバル特別部会会長・高橋委員)

はい、ありがとうございます。アートフェスティバル高橋です。お願いいたします。

11月の2日3日、黒崎市民会館にて無事に
第12回西区アートフェスティバルを開催することができました。

この開催におきましては、自治協委員の皆様にもいろいろ助けていただくこと多々ありまして、準備や当日の運営に力を貸していただきまして本当にありがとうございました。

今回ですね、アートフェスティバルは地震の後ということで西区を元気にというテーマを持ちまして、進めていたのですけれども、わかりやすいテーマだったということで西区からの広報チラシとかポスターの他にも新潟日報さんにも取り上げていただいたりとか、NHKさんにも取材に来ていただいたりなどして、とても広くの方に知っていただけたのではないかなというふうに思っております。

11月の部会が休会になってしまったので、まだ委員自体にもあんまり報告ができていないところなのですが、今回の西区アートフェスティバル来場者439人ということで、前年度を大きく上回っております。

今回は本当に事務局にもお願いするところをお願いするんですけども、各団体に直接委員からお願いしに行くというふうなところにこだわっていたので、チラシとかも出演団体の皆さんにぜひ知り合いの方にも来ていただけるようにご案内してくださいというふうにそこもお願いをしたことが、集客というか、来場者が伸びたことに繋がるかなというふうに思っています。

アンケートも取りまして、自由記述のところ私とても楽しく拝見をしているところなんですけれども、西区を元気にというところで、ステージ発表の人たちが実に生き生きとしていて楽しそうであったと、元気をいただきましたというお声をいただけたことが私自身大変嬉しかったです。

また子供たちの楽しそうということは伝染するんだね、というちょっと嬉しい言葉もいただきました。

あと、新大の工学部さんが今回、参加型のスクラッチのワークショップをしてくださって、そこが大変に好評だったという意見もありました。

大学生さんと触れ合うイベントが大好きだという意見もありました。

またさっきちょっと話に出ましたけれども、3部会さんのフォトコンテストの入賞作品、去年の入賞作品を展示させていただいたんですけれども、そこを見た方から、自分の住んでいる地域に愛情を持って暮らしていこうと思いましたっていう意見もいただきました。

まずは11月の部会が開けていないので、
まずはこのアンケートの結果を12月の部会で委員全員でちょっと噛み締めまして、
それからしっかり振り返りを行いたいというふうに思っております。

12月の部会は12月11日に行います。はい、以上です。

(大谷会長)

はい、ありがとうございました。最後に部会の状況報告全体を通して何か質問がございましたら
お願いしたいと思いますがいかがでございましょうか？

(質問なし)

(大谷会長)

質問はないようです。

続いて次第の2、
議事の(1)令和7年度特色ある区づくり予算事業についての答申に戻りたいと思います。

私から説明いたします。資料1-1と1-2をご覧いただきたいと思います。
先ほど各部長から報告していただいた各部会の意見が資料1-2に一覧としてまとまっております。

今回はこの意見一覧を、令和7年度特色ある区づくり予算区役所企画事業一覧案に対する
西区自治協議会からの意見として、答申をいたしたく考えております。

皆様委員の皆さんからご承認いただければ、
この資料1-1と資料1-2の通りし答申したいと思いますが、よろしいでしょうか？

(異議なし)

はい。異議なしということですので、
資料1-1、1-2の通り回答することといたします事務局は手続きをお願いいたします。

続いて次第の3、
自治協議会からの報告(2)、第3部会交通に関するアンケートの集計結果についてであります。

山賀部長より報告をお願いいたします。

(第3部会会長・山賀委員)

はい。第3部会で皆様にお願ひしました。交通に関するアンケートの調査結果を報告いたします。資料3をご確認ください。

先ほどの報告でも申し上げました通り、交通に関する取り組みを考えるにあたってはやっぱり現状を知らないといけないということがありました。

ただ、広く調べていくには自治協議会の部会の中でやるには限界があるので、まずお試的に第3部会の中でやって、そして自治協の委員さん対象でやってみて、どういった傾向が見られるかっていうのを把握して、そして今後の西区、今後のといたしますか、今作っている西区の生活交通改善プランですとか、会議の中で参考としていただくということを狙いとして行いました。

自治協の委員さん36人いらっしゃいますけれども、今回のアンケートに回答いただいた方は17名でした。

回答率は47.2%ということでした。ご回答くださった皆さん本当にありがとうございました。

ご回答いただけなかった方は、なんでご回答いただけなかったかなっていうのは、後でちょっとこっそり教えてもらいたいなというふうに思います。

いろいろとちょっと考えて難しかったかなとか、忙しかったかなっていうのはちょっと想定してたんですけども、教えていただければありがたいです。

まず属性なんですけれども年代と性別はここにあるグラフの通りです。

自治協の委員さん自体が大体40代以上が多いので、こちらのアンケートの結果の方もこういった構成になるかなというところがありました。

あとはやっぱり回答方法なんかもちょっと影響はあるのかなというふうに推測しているところです。

1枚めくりまして裏面です。

居住地域とそれからお住まいのところから最寄りのバス停および駅について伺いました。

どこにお住まいかというのはそこに書いてある通りですけれども回答者のほとんどが徒歩圏内にバス停があってですね、大体2分から10分以内というところで、非常にアクセスしやすい場所にお住まいだということでした。

ですので、今はあんまり困ってないというふうに考えられるのですけれども、これ居住お住まいの場所ですとか、時間帯によっては、公共交通の便数が少ないことも考えられるなどというふうに思っています。

1件だけちょっと未回答があったのですけれども、居住地から非常に公共交通へのアクセスが困難な地域であるというふうに判断されるのでなかなか答えられなかったのかなというふうに、これも推測しています。

そして次の質問が将来的に交通ですとか移動に関して不安があるかっていうこととその理由を伺いました。

回答者のほとんどの方は、不安を感じているのですけれども何とかなるだろうとか対応を考えているというような傾向が見られました。

理由としては公共交通機関へのアクセスがいいっていうことですか、同居されている家族がいるっていうことで、その対応が考えられるため、こういった点は西区の実情が表れているのかなというふうに思います。

ただ今は運転できるのでいいんだけど、できなくなったときにどうなるだろうっていうその不安は感じられている方も多いですし、公共交通サービスが縮小することで利便性が低下するっていうことの影響を心配するご意見もありました。

個別の意見についてはその下のところに記載しています。

不安はないというふうな回答もありましたけれども、不安はあっても何とかなるっていう方は体力の面で歩いても大丈夫そうとか、それから他の手段ですね、家族やタクシーを利用するとか、家族に送迎っていうようなご意見がありました。

不安を感じているという方はですねやっぱり車が使えなくなったときにどうなるかっていうのがまだよくわからないっていうところでちょっと不安を感じてられたりしています。

次の交通移動手段に関して、ご自身の周りですとか、地域の住民の方の困り事を見聞きしたことなどをお書きいただきました。

まず、やっぱり多かったのが、移動手段がなかったり不便なことで困っている高齢者がいるというのが意見が多く出ていました。

やはり買い物ですとか、病院に行くってところで、
ご自身で車が使えなくて、困っているっていうようなところですか、
それからの本数が少ないっていうことで、なかなか行きづらっていうこともあったり、
乗り換えもそうですねっていうのもありました。

あとタクシーもなかなか使いづらくなっているっていうようなお話がありましたし、
高齢者が高齢者を送迎しているというような状況だったりっていうこともありました。

それからバスの減便で不便になったっていうご意見がありました。

次は、これ生活面というより観光面なるんですが、よその地域からここに来た方、
西区だけじゃなくて市内全域ですけれども、あちこちを巡るのに不便だということで、
やっぱりこちらにいる方が車を出して送迎したり巡ってあげたりしないと
なかなか新潟のいいところを見に行くのが難しいというようなご意見がありました。

あとは買い物でタクシーを利用しているとか、送迎、さっき家族に送迎してもらう
というご意見ありましたけれども、送迎車側の方にも負担が出ているというようなご意見がありました。

それから自家用車を使う方が多いので、自家用車を利用することで
公共施設などでの駐車場の不足が見られる、
公共駐車場が足りなくて困っているサークル利用者が参加を諦めるというようなご意見も出てました。

あとは特にないというご意見もありました。

続きまして、今後の新しい交通手段等関連性のあるデジタルツールの利用状況、
スマホやパソコンなどの利用状況なども聞いてみました。

この結果につきましては、回答者のうち 50 代以下の全員と 60 代の多くの方が
普段からスマホやパソコンで様々な予約や決済を行っているという結果でした。

70 代以上側の方は利用してなくて、この 60 代が今境目になっているなという状況です。

70 代以上の方でも、教えてもらえたらちょっとやりたいという方も中にはいらっしゃいましたし、
なかなかちょっとやろうとは思わないという方もいらっしゃいました。

そして 9 番目、次のページ交通移動手段問題で気になっていること
知りたいことということをお聞きしました。

まずは利便性を向上してほしい。これバスの本数とかそういったところだけじゃなくて、サービスの内容だったりとか、それからの行き方、時間などもすぐわかるようになるというふうなご意見がありました。

それから今公共交通サービス、特にバスなんかですと、運転手不足などもあって、減便なのですけれども、サービスが縮小していくことが心配だというご意見がありました。

それから先ほどから今車があるから大丈夫という方のご意見がたくさん出てたんですけども、今後、車を使わなくなっても不便にならないような対応が必要だというふうなご意見がありました。

それに関連して問題解決への取り組みも推進してほしいというご意見がありましたし、他地域での事例を知りたいというご意見がありました。あとは特になしです。

最後、おまけの質問、おまけの質問ということで、西区の見どころっていうのも聞きました。

多かったのが佐潟ですね。それと海とか海岸とか夕日、潟、池なんかも含めたりなんですけれども、松林とか砂丘とかも一緒にすると、その辺が一番多かったご意見でした。

あとは寺尾中央公園ですとか新川それから田園風景景色ですね。歴史的な施設とあとは地物の購入場所とか飲食店などがありました。

わからないという方もいらっしゃったり、残念ながら特にないという方もいらっしゃって、私は結構西区いいところいっぱいあるんだけどなと思いながら集計していたので、ぜひもう1回見渡してもらいたいなというふうに思います。

以上が交通アンケートの調査結果でした。

回答数が少ないので全体の総括っていうところまではやらなかったのですが、想定はしてたんですけども、自治協議会の委員の皆さんはですね地域でそれぞれ活動してらっしゃるし、こういう会議にも出てこられるので、元気で今はそんなに交通に困っていないかなっていうのはある程度想定していました。

ただやっぱり心配なこと等があったりとか、それから地域の中の状況っていうのもこういったいろんな方々から聞くとよくわかるなっていうのがこのアンケートをやっても思いました。

それと結果についてですけれども、おそらく西区はそんなに今困っていないという結果がここからは出ているんですけども、やっぱりその地域によって大きな違いがあるかなと思います。

便利なところは便利なのですけれども、本当に公共交通空白地帯のようなところもあったりなので、そういったところをやっぱりきちんと分けて細かく分けて考えていく必要があるかなということが一つと、それから不便であるっていうことと、本当に暮らしをやっていく上で困っているっていうことは分けて考えた方がいいかなと思っています。

不便だったら何とか何とかなるというところはいけると思うのですけれども、本当に困っていて暮らすのが大変だっているところは優先的に手をつけていく必要があるのかなというふうに思いました。

以上、長くなってすいません。報告を終わりたいと思います。ありがとうございました。

(大谷会長)

はい、ありがとうございました。

大変貴重なアンケートの結果をまとめていただきましてありがとうございました。

私個人としてはですね、非常に少子高齢化時代を反映して、やはり人口減少の影響によってですね、だんだん暮らしにくい時代が近づいているんだなということを率直に感じたところでございます。

皆さんの方から何か質問がございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか？

(竹田委員)

第2部会の竹田でございます。

質問ではないのですけれども、意見としてちょっと一言言わせていただきたいのですが、こういったアンケートを年間で、いくつかの部会がアンケート調査をやる機会が多いと思うのですけれども、今回のアンケート調査を見てもですね、いわゆる参加者が少ないというふうに感じています。

36名中17名ということですから、50%以下という数字なわけですから、この辺は第3部会の方が大半を占められているのだらうとは思いますが、やはりアンケート調査っていうのは大多数の人たちからの意見をとって初めて、実態がわかるということだと思いますので第1部会第2部会さんもですね、一つ私も意見を出させてもらったのですけれども、協力していただけるように今後のことを踏まえてお願いしたいなというふうに思っています。以上です。

(第3部会会長・山賀委員)

はい、ありがとうございます。その通りというか、できれば協力していただきたいなと思います。

このアンケートを担当してるのが前田委員なんですけれども、やはりご回答いただけなかった理由っていうのも知りたいねっていう話はしてまして、本当に皆さんお忙しいので回答する時間がなかったっていうこともあるでしょうし、回答期間の問題であったり、あとやっぱり回答方法が Web フォームですとか調査票をメール FAX をしなきゃいけないっていうのもあったのかなとか、質問内容が面倒だったとかいろいろあるかなと思ったので、ちょっとその辺は聞かせていただければなと思ってますので、後でこっそり教えてください。はいありがとうございました。

(大谷会長)

山賀部会長の返答でよろしいですか。

他にいかがでしょうか？なければその他に移りたいと思いますが。

(特になし)

【その他】

(大谷会長)

それでは、委員の皆様から何か連絡や報告事項がありましたらお願いしたいと思います。

いかがでしょうか？

(なし)

【事務局からの連絡】

(大谷会長)

ないようですので最後に事務局事務局からの連絡ありましょうか？

(内藤副区長)

私内藤の方から一つご案内です。

今年度予算をいただきまして、ハザードマップを再編集してわかりやすいものということで、津波に特化したものを、今配布の準備を進めております。

12月に入りますと各戸配布ということでお手元に届きますので、ぜひ永年保存ということで、すぐ捨てたりしないでですね、よくご覧いただければと思います。

併せてコミ協さん単位でハザードマップの見方の勉強会というものも
今開催に向けて準備を進めております。

開催の日程調整、またコミ協さん単位でご連絡させていただきますので、
よろしく願いいたします。以上です。

(地域課・土田補佐)

・次回会議案内

「令和6年12月25日(水) 午後3時～ 健康センター棟1階 大会議室」

(大谷会長)

・閉会宣言[会議終了]